



三重県ユニセフ協会機関誌

# みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2017

Vol. 10  
2017.7

## 副会長が交代しました

### 三重県立看護大学学長 菱沼典子

きれいな水が手に入るのは当たり前、今日のご飯があるのも、風雨をしのいで安全に眠る所があるのも当たり前とっていますが、世界では水にも食料にも、寝床にも手が届かなくさんの子どもたちが、ユニセフの支援を待ち望んでいます。

ユニセフの思想に賛同し、活動が続けておられる皆さまに、心より敬意を表しますとともに、一人でも多くの方に活動に加わっていただきたいと願っております。

社会の動きは日本国内で完結するものではなく、情報も物流も人も、地球全体を一つとしてとらえるしかありません。自分の所属する社会、国を超え、地球人としての視点が問われます。

しかしグローバルに物事を考える土台は、自分自身の価値観を自覚すること、自分が属するコミュニティの歴史、文化を良く理解することから始まります。

足元をよく見つつ、世界に目を向ける姿勢を皆様とともに持ち、ユニセフの活動に参画したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



副会長 菱沼典子

## 日本ユニセフ協会 団体賛助会員様(敬称略)

井村屋グループ(株) JAグループ三重 生活協同組合コープみえ みえ虹の会  
日本トランスシティ(株) 万協製薬(株) (株)百五銀行 (株)三重銀行 (株)第三銀行  
三重交通(株) 三重県生活協同組合連合会 三重大学生活協同組合

# 活動報告 (2017年01月～2017年6月)

## ユニセフパネル展

### シリアの子どもたちの願い

#### 銀行ロビー展

- ・百五銀行津駅前支店(4月)
  - ・三重銀行白子支店(5月)
  - ・第三銀行津駅前支店(6月)
- フレンデみえロビー展(5/9-5/23)**



フレンデみえ

### 展示パネルの一部紹介

#### 『文字の読み方も忘れたよ』 アリ13歳

僕には2人の友だちがいました。  
でも2人とも、爆撃で亡くなりました。  
シリアの学校で一緒に遊んでいた時に・・・  
しばらくして、僕は家族と一緒に、シリアから逃げました。  
前は、英語、算数、アラビア語、いろんなことを勉強していました。  
成績はクラスで1番だったけど、戦争のせいで・・・  
僕どうしちゃったんだろう。文字の読み方も忘れたよ。



©UNICEF Video/2017

#### 『私の学校は爆撃されました』



アビール13歳

©UNICEF Video/2017

シリアにある私の学校は爆撃されました。学校を一番思い出させてくれるのは、重い学校のかばん。かばんのことを考えると、夢を叶える希望が持てる。学校に行けない理由は、交通手段がないから。夜の6時に帰宅するのは、危なすぎる。他の人は、私たちの暮らしに1時間と耐えられないと思います。どうか、自分の国が戦争をしている辛さを、想像してみてください。



2011年3月に始まった紛争が、今なお続いているシリア。長引く紛争は子どもたちから多くのことを奪っています。教育もその一つで、現在、シリア国内や周辺国で暮らしている240万人以上のシリアの子どもたちが、学校に通っていません。紛争という、自分たちではどうにもならないものに巻き込まれながらも、「学校に通いたい」と強く願い続ける子どもたち。その子どもたち一人ひとりのメッセージを聞いてください。

#### 『お父さんもお母さんも働けないので、僕が働き始めました』 アマル13歳

車が小さくて荷物が積めないの、持ち物はすべて置いてくるように言われました。©UNICEF Video/2016  
何も持ってこられませんでした。おもちゃも靴も、必要なものも、全部シリアに置いてきました。サッカーをしているときに幸せです。友達と一緒にいられますから。みんなで一緒に、楽しくサッカーをしています。もう子どものように感じないし、前のように遊ぶこともできません。毎朝、スコップで土を掘ってふるいにかけて、お金になる細土を集めています。  
働いたり、水を運んだり、こんな生活は、本当に嫌ですが、お父さんもお母さんも働けないので、家族のために僕が働き始めました。食べ物を買うことができるよう、稼いだお金は両親に渡しています。シリアの学校は好きでしたが、今はあまり好きではありません。働いたり、水を運ぶのに疲れて、勉強をする時間もあります。学校に行く前に、パンを買いに行ったり、水を汲んだり、働いたりしなくてははいけません。学校に着くころには疲れてしまって、授業に集中できません。学校よりも支援センターの方が好きです。友達にも会うことができますし、学校よりも多くのことを学べますから。世界の子どもたちには、将来のために一生懸命勉強してほしいです。病気になったり、疲れるだけの仕事で一生を終えることがないように、しっかり勉強してほしいです。



#### 『教室には机があるんだろうな』



アッシア10歳

©UNICEF Video/2017

私の名前はアッシア、10歳です。学校には通っていません。お父さんが学校に行くのを許してくれないから、弟や妹たちと家にいなければなりません。学校に行ったことはないけれど、教室がどんなところか想像することはできます。ペンにノート、教科書、カラーペン、机もたくさんあるんだろうな。先生用の机や椅子もあるはず。学校に行きたくてたまりません。そしていつか先生になって、子どもたちに勉強を教えてあげたいです。

ヨルダンで暮らすシリア難民の家庭の半数近くで子どもたちが家族のために働いています。



## 活動報告

## ユニセフ募金活動

3/15 白山中学校 募金額10,326円  
 4/5 株式会社 津 松菱 募金額73,830円  
 6/30 津市朝陽中学校 募金額2,774円

ありがとうございました。



株式会社 津 松菱様  
(県協会事務所にて)

## ブース出展

2/8 生協大会 募金額1,145円  
 3/5 10:00~15:30 伊勢市国際交流フェスティバル 募金額1,595円



4/15,16 四日市酪農(ふれあい牧場)  
募金額8,323円

5/13 看護大学 学祭「夢緑祭」  
募金額10,623円



あいにくの悪天候のため、全体の来場者数は少ないようでした。あいにくの天候にもかかわらず、来場しブースに立ち寄っていただいた方々より、10,623円募金していただきました。パネル展は、どちらかといえば年配の方が足をとめてゆっくり見ていただきました。(ボランティア 大村)

6/15 コープみえ総代会募金額 262,632円  
 当日募金額 28,180円

## 外国コイン募金

5/12 津エアポートライン  
 8.15kg 日本円432円

6/5 他、個人より 879g



4/14 10:00~11:30  
 映画上映会「いのちのはじまり」  
 生涯学習センター視聴覚室



三重大学

## 出前学習会

1/26 10:30~11:15  
 神明小学校  
 6/17 13:30~14:20  
 三重大学

## ユニセフ学習会



1/15 10:00~15:00  
 ボランティア学習会  
 (コープみえ本部ビル会議室)



2/15 津商業高等学校  
 「人権フィールドワーク」  
 (コープみえ本部ビル会議室)



1/22 9:00~10:40 三重県高等学校文化連盟ボランティア部門の生徒さん  
 ～避難所デザイン～「子どもにやさしい空間」(三重県立鈴鹿青少年センター)

## 評議員就任あいさつ

### 新評議員の紹介 朝日新聞総局長 斎藤大宙

入社して30年あまりの大半を社会部畑で生きてきました。が、昨春、今の職務に異動するまでの直近10年間の過半はスポーツ部で、とりわけ大相撲担当として過ごしました。記者としてはきわめてドメスティックな世界で生息してきましたので、国連活動の一翼を担う貴会にどれだけお役に立つのか、まったくわかりません。

ただ、数少ない海外体験として1992年、自衛隊初の海外派遣となったPKO(国連平和維持活動)取材で、カンボジアに1カ月ほど滞在しました。

現地入りの直後、自衛隊の宿営地に集まった人々の中に5、6歳の男の子がいて、目が合った私に笑顔を見せてくれました。うれしくなって、ポケットにあった日本のキャンディーをひと粒。彼の笑顔がさらにはじけました。

あの時の、あの子の目を今も時々、思い出します。ほんの一瞬のふれあいでしたが、記者としての宝物のひとつです。

斎藤 大宙(朝日新聞津総局長)



評議員 斎藤大宙

### カンボジア【2017年5月2日 東京/プノンペン(カンボジア)発】

**未登録の“孤児院”が全体の38%。施設で暮らす子どもの状況に重大な懸念。**

**政府、報告書と行動計画を発表**

ユニセフ(国連児童基金)・カンボジア事務所とカンボジアの社会問題・退役軍人・青少年更正省(MoSYY)は4月20日、“孤児院”等の子どもを養護する滞在型施設の調査報告書、及び、子どものケア向上のための行動計画に関する共同プレスリリースを発表しました。

#### 350人に1人が施設で暮らす

調査の結果、これまで政府がデータとして持っていた254施設をはるかに上回る、406施設の児童養護施設が存在することが確認されました。これまで登録されていた1万1,171人に対し、実際には1万6,579人に上ることが明らかとなりました。2015年の人口統計に基づく、カンボジアの子ども350人に1人が、児童養護施設で暮らしていることになります。



© UNICEF/UNI83534/Noorani  
カンボジアの子どもたち

#### 家庭的なケアへ戻す行動計画

カンボジアの子どものケア向上のために政府が策定した行動計画では、子どもが家族と一緒に暮らすことを促進し、子どもを施設から家族の元に戻し、施設に代わる支援を提供することによって、子どものケアを改善することを目指しています。本計画では特に、首都プノンペンと4州(バタンバン、カンダール、シアヌークビル、シェムリアップ)の児童養護施設で暮らす子どもの30%にあたる、約3,500人の子どもたちを、2018年末までに家族やコミュニティを基盤としたケア体制の下に戻すことを目標としています。

(日本ユニセフ協会ホームページより一部抜粋)

予告

2017年12月9日(土) 10:00-15:00  
三重県総合文化センターレセプションルームにて設立5周年記念事業開催

発行：三重県ユニセフ協会

(事務所開設日：月・水・金 10時～17時)

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町379 コープみえ本部ビル1F

E-mail: [mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp](mailto:mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp) ホームページ：<http://www.unicef-mie.jp>